

東京都の最大4,250万円の省エネ化助成金 最終募集を開始、都内の経営者は注目!

(株)エネライン

レジャー・ラブホテルのエアコン洗浄・入替えやLED設置など空調・電気設備のメンテナンスを主業務とする(株)エネラインは、省エネ設備導入による助成金申請などの提案・サポートも行なっている。同社代表取締役・濱田知紀氏は、6年ほど前から省エネ化助成金の申請サポートに取り組み、オフィスビルやホテルでの実行の実績がある。「照明のLED化やエアコン・ボイラーを省エネタイプに入替える際に、自治体や国の省エネ化に関する補助金事業を活用すれば費用の1/3～1/2を助成金で賄うことができます。東京都などは業種を問わないので4号営業も含めたレジャー・ラブホテルでも可能。ぜひ活用したい制度です」という。

いま注目したい助成金事業が、東京

都の「グリーンリース普及促進事業」だ。助成率は設備費・工事費の総額の50%（設計費や産廃処理費は対象外）で助成額の上限は最大4,250万円だ。これはビルオーナーとテナントが協働し省エネ化に取り組む設備改修に対して、公益財団法人・東京都環境公社が助成金を出すというもの。ホテルの場合は、所有者と運営者が別法人で賃貸借契約があれば対象となる。

この助成金事業は、平成28年から数回にわたり募集が行なわれてきたが、今回が最終募集となる。募集期間は10月1日から来年1月15日までだ。都内のホテルで設備変更の計画のある経営者は、ぜひ、注目したい。

実際に、この事業の前回応募（今年7月締切）で、同社がサポートした都



(株)エネライン
代表取締役
濱田知紀氏

内の4号営業ホテルの助成金申請が採択されている。このケースでは、空調機器と冷蔵庫・冷凍庫の変更により、都の定める基準をクリアしたことで、総額約3,500万円の設備費・工事費のうち消費税と撤去費用を除外した額の50%となる1,000万円強の助成金が9月末に決定。工事完了後に確認検査が行われ、その後2～4週間で助成金が支払われることになる。

非常に魅力的な助成金額だが、申請には、設備変更でどれだけ省エネ化ができるのかなど、専門的な数値データを算出し提出しなければならない。経営者自身が申請するのはほぼ不可能で専門家への依頼が必要だ（その調査費用にも上限100万円の助成金がある）。

濱田氏は「申請代行の費用は成功報酬です。東京都のこの助成金事業は助成率も助成額も大きい。今回が最終募集なので、都内のホテルで設備変更を計画中のホテルは、ぜひ当社にお問い合わせください」という。

「東京都助成金：グリーンリース普及促進事業」（最終募集）

<概要>

東京都内のテナントビルにおいてオーナーとテナントが協働し省エネ設備を導入する費用の一部を、公益財団法人東京都環境公社が助成する。

<助成額>

- ・助成率の上限：対象となる設備費・工事費の総額の50%
- ・助成額の上限：4,250万円
（申請のための調査費用も助成率50%、上限100万円の助成がある）

<対象となる設備>

- ・LED照明／エアコン／ボイラー、等

<助成対象事業者>

- ・東京都内にテナントビルを所有する中小企業事業者
※ホテルの場合、所有者と運営者が別法人で賃貸借契約があれば対象となる（4号営業ホテルも対象）

<交付の主な条件>

- ・省エネ設備の導入で東京都が定める省エネ率の基準を超えること
- ・地球温暖化対策報告書を都に提出していること

<スケジュール>

- ・募集期間：平成30年10月1日～平成31年1月15日まで

[問合せ]

(株)エネライン

神奈川県横浜市都筑区見花山 1-30

見花山ビル 3F

TEL.045-550-3548

FAX.045-508-9749

<http://eneline.co.jp>

info@eneline.co.jp